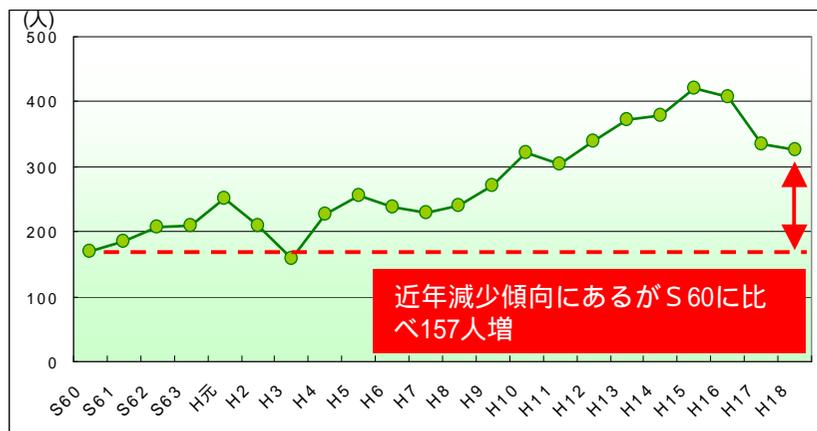


データから見る自転車利用 環境の現状

データから見る自転車利用環境の現状

自転車交通事故増加



自転車対車両事故死傷者数の推移(秋田市)

秋田県原因別自転車死傷者数(H18)

単位:人

原因別	死者数	負傷者数	合計
横断禁止違反		1	1
一時不停止等		35	35
信号無視		14	14
酒酔い運転			0
安全不確認	1	60	61
右側通行		8	8
その他(同乗者含む)	2	62	64
違反無し	2	452	454
総計	5	632	637

資料:平成18年交通統計(秋田県警察本部交通部)

自転車交通のニーズの高まり



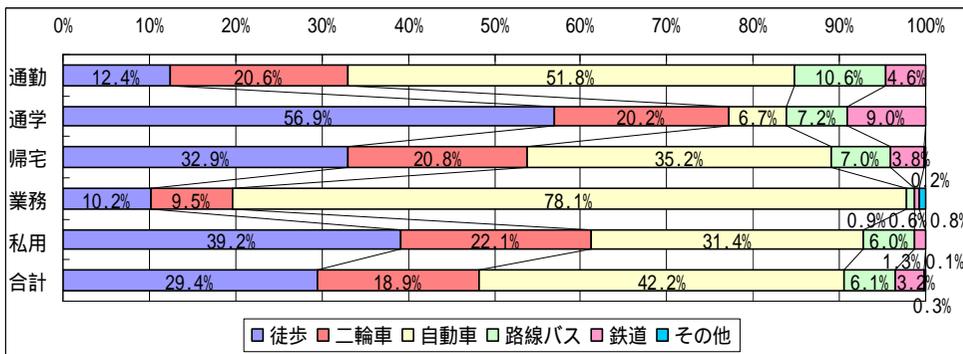
ガソリン高の影響で高まる自転車ニーズ

出典:平成20年8月8日(金)秋田魁新報 朝刊

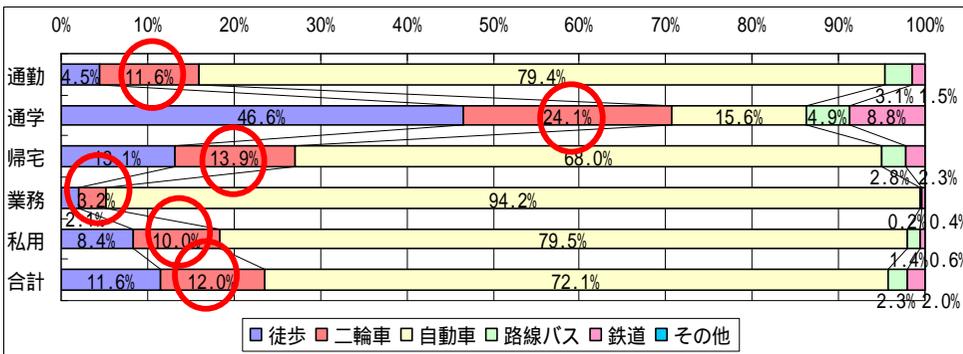
データから見る自転車利用環境の現状

自転車の交通手段構成率は若干減少
 自転車は自動車に次ぐ交通手段

S54



H17



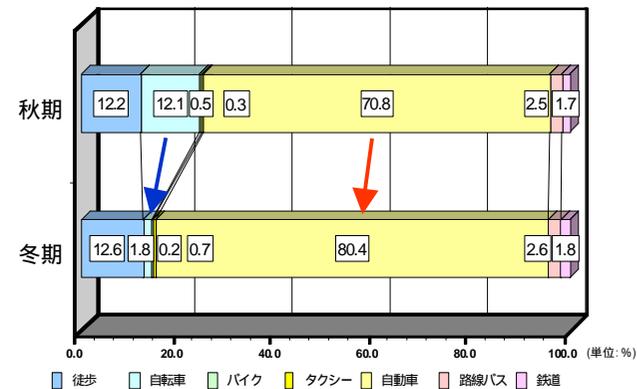
目的別・代表交通手段構成 (都市圏関連)

資料: S54パーソントリップ調査

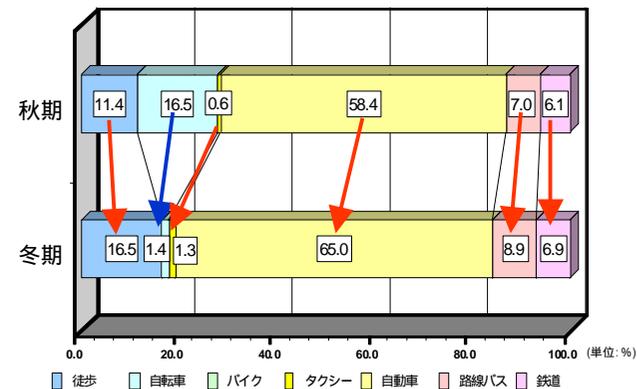
H17都市OD簡易パーソントリップ調査

冬季は自転車から自動車へ

都市圏内々交通全目的代表交通手段構成比



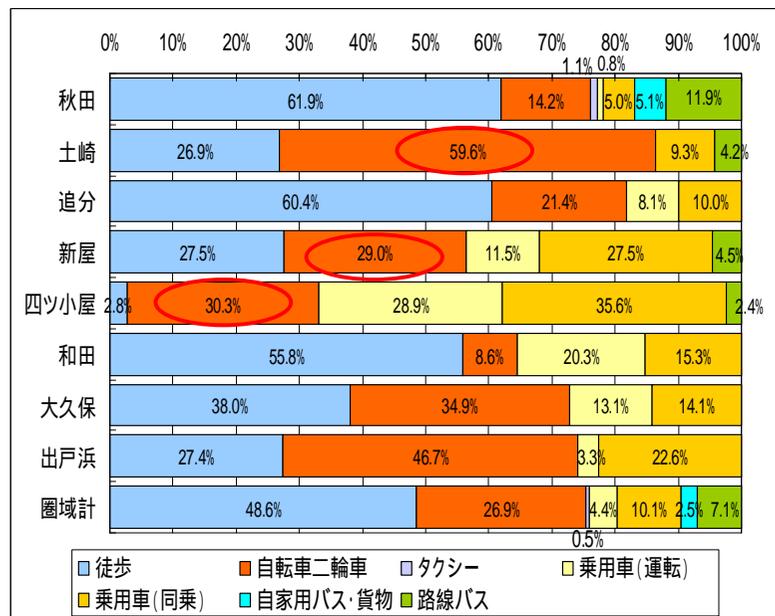
都心部集中交通の全目的代表交通手段



資料: H17都市OD簡易パーソントリップ調査

データから見る自転車利用環境の現状

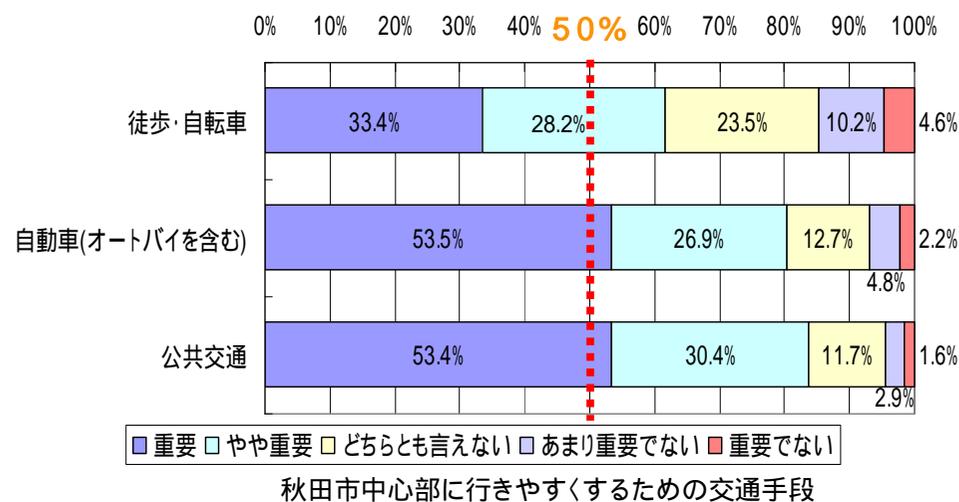
主要駅では自転車が多く利用されている



主要駅の駅端末交通分担
(アクセス+イグレス)

資料 H17都市OD簡易パーソントリップ調査

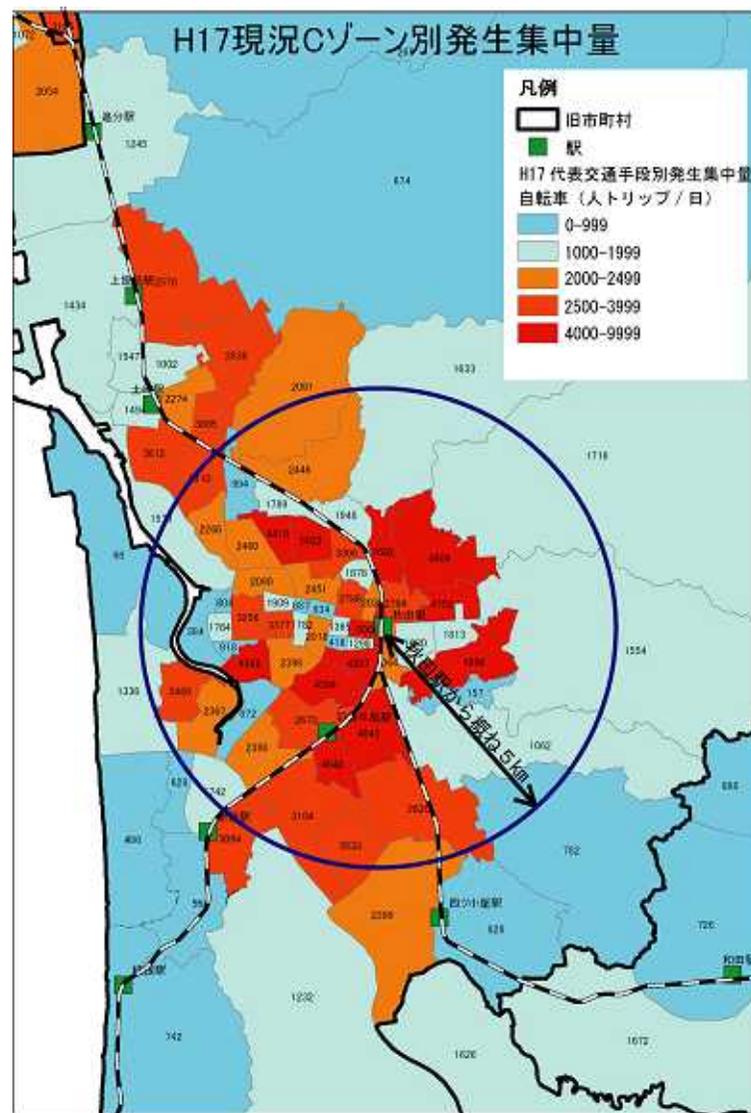
中心市街地へのアクセス強化として、
自転車も含め多様な選択手段の確保
が求められている



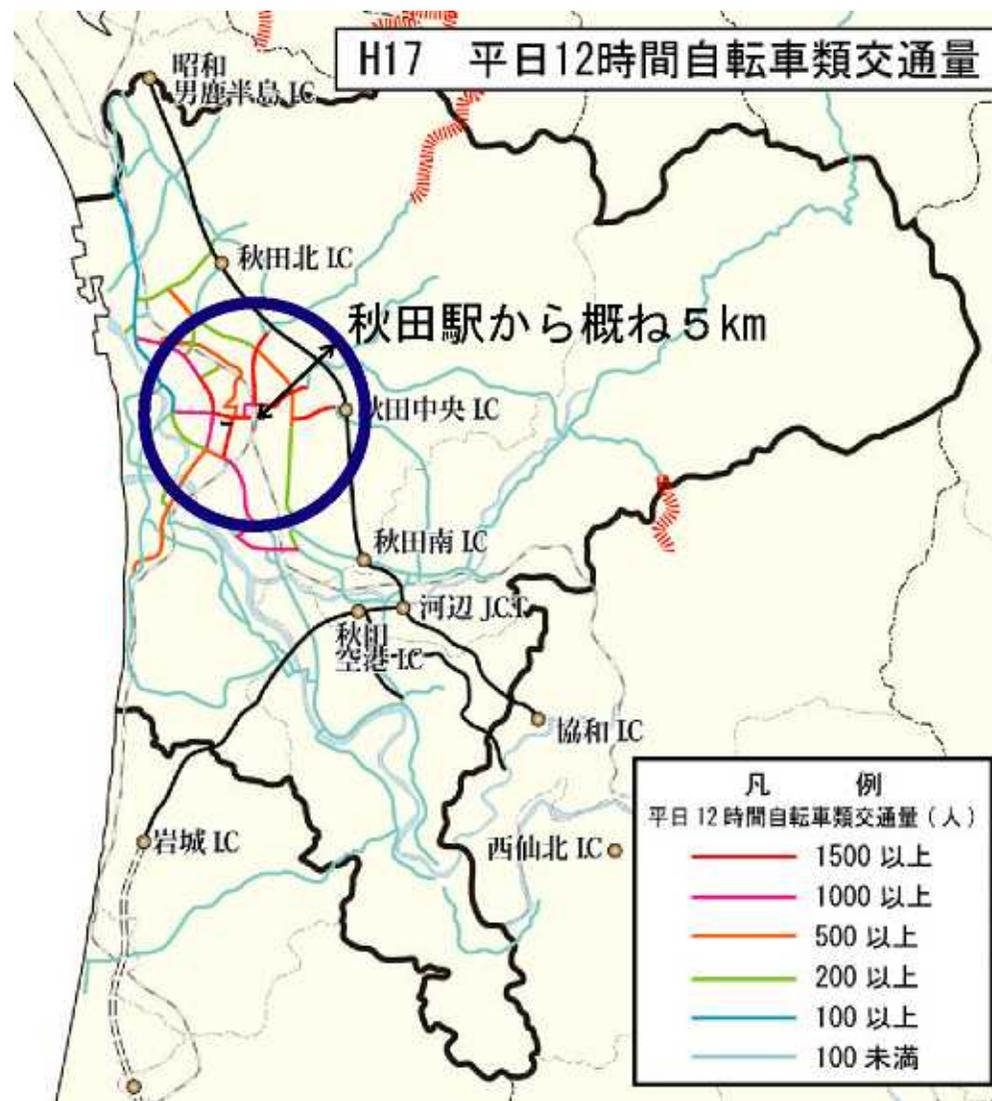
資料 H17秋田都市圏街路交通調査アンケート調査

データから見る自転車利用環境の現状

自転車利用は駅周辺や概ね5 km圏域で利用率が高い



資料 H17都市OD簡易パーソントリップ調査

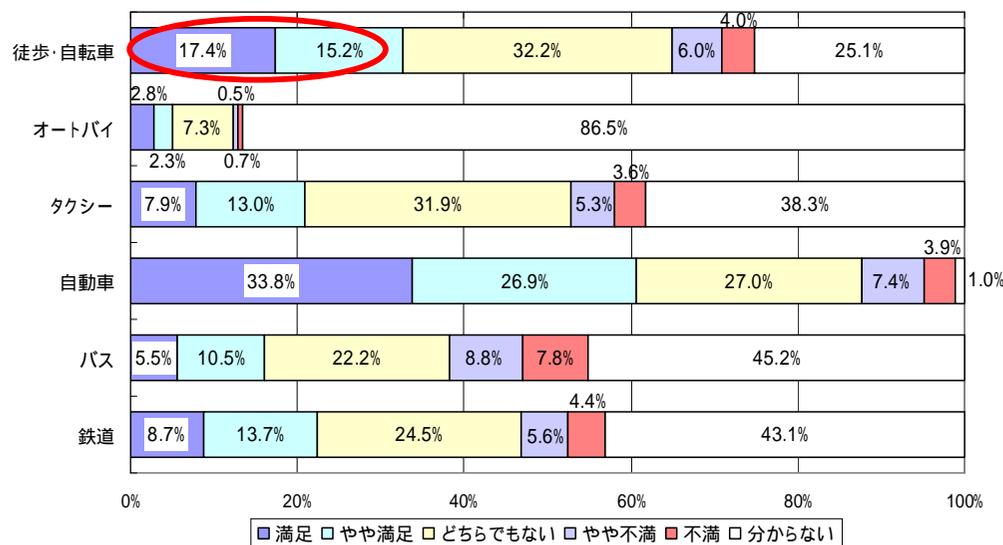


資料 H17道路交通センサス調査

データから見る自転車利用環境の現状

歩行者・自転車利用についての満足度はマイカーの約半分
 不満の内容で多いのは、歩道の整備不良、自転車歩行者道不足

日頃利用する交通手段についての満足度



資料 H17秋田都市圏街路交通調査アンケート調査

徒歩・自転車の不満の記載内容

徒歩・自転車での不満の内容	件数	(%)
不満な理由	259	89.3%
歩道の整備不良(段差など)	63	21.7%
自歩道不足	61	21.0%
歩道が狭い	36	12.4%
長距離が困難	29	10.0%
自動車による危険性	17	5.9%
冬期間は歩きづらい	13	4.5%
地形・地物による制約	10	3.4%
歩行者が危険	8	2.8%
外灯不足	8	2.8%
自転車が危険	5	1.7%
駐輪場不足	5	1.7%
駐輪場料金が高い	4	1.4%
その他	31	10.7%
合計	290	100.0%

注) 記載内容に複数の回答がある場合は各々をカウントしている。

資料 H17秋田都市圏街路交通調査アンケート調査